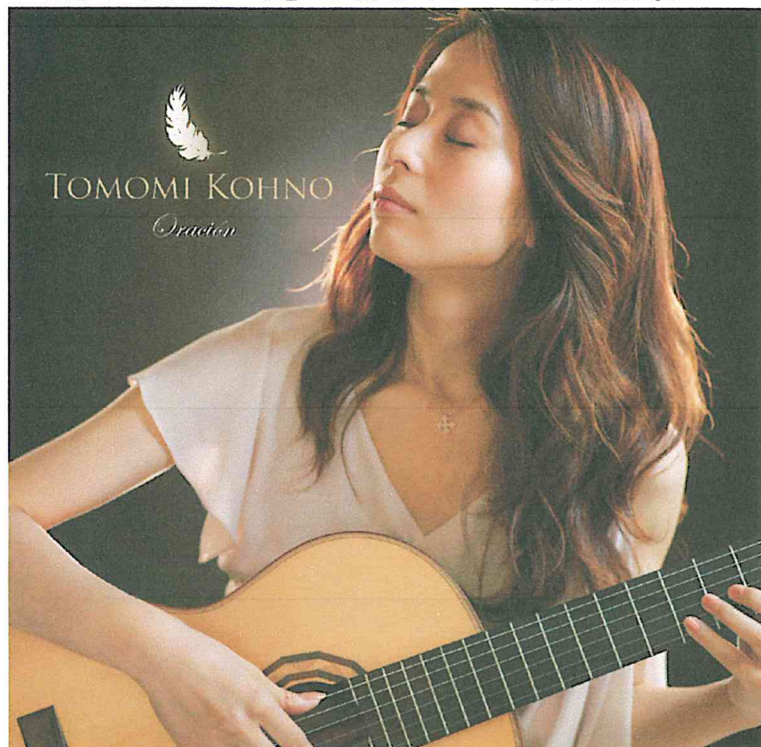


魂のギタリスト、河野智美の静かで熱い「祈り」のカウンタービレ

## 河野智美／祈り

「歌」に満ち、「心」の宿るギター（濱田滋郎）



東京国際ギターコンクール、アジア国際ギターコンクール入賞の実力派ギタリスト、河野智美が満を持して放つ入魂の1枚。数々のギター名曲の中から真にカウンタービレで上質な癒しを感じられる楽曲のみを厳選しました。

その静寂の中から浮かび上がる静かで熱い「祈りの音楽」は万人の心を震わせずにはおきません。完璧なテクニックに裏付けされた至高のエスプレッシーヴォを堪能してください。

それはいわば、天性の「しなやかさ」である。ただ正確に、四角四面に楽譜を音にしていくのではなく、文章に例えれば「行間に匂うもののある」演奏である。河野智美のギターは常に「心の宿る」ギターであり、そうであればこそ、聞き手の心を得も言われぬ共振、共感へと導く。ギターという「細やかさ」の楽器に幸あれ、そしてこれをふさわしく操る、文字どおり“心ある”音楽家に幸いあれ！（濱田滋郎ライナーノーツより）

2013年10月10日発売予定 MECO-1017 定価¥3,000（税込）



DSD レコーディング SACD ハイブリッド盤

企画制作：ソニー・ミュージックダイレクト

販売：ミュージックエンターテイメント

録音：2013年6月7日～8日 クララザール真鍋記念館（セッションレコーディング）

■収録曲目

- ・大聖堂（アグスティン・バリオス）
- ・無伴奏ヴァイオリン・ソナタ第1番 ト短調 BWV 1001（J.S. バッハ～高田元太郎編）
- ・10のエチュード集～エチュード第1番（ジュリオ・レゴンディ）
- ・ノクターン“夢”作品19（ジュリオ・レゴンディ）
- ・フリヤ・フロリダ（舟歌）（アグスティン・バリオス）
- ・カヴァティーナ～映画『ディア・ハンター』より（スタンリー・マイヤーズ～ジョン・ウィリアムス編）
- ・アヴェ・マリア（ウラディーミル・ヴァヴィロフ/ジュリオ・カッチーニ～河野智美編）
- ・「植生の宿」の主題による変奏曲（横尾幸弘）
- ・祈り（チャールズ・コンヴァース～横尾幸弘編）

### ■河野智美（こうのともみ）プロフィール

東京都出身。4歳よりピアノ、7歳よりギターを始める。

クラシカルギターコンクールで優勝のほか、東京国際ギターコンクール、アジア国際ギターコンクールなど、国内外のコンクールで入賞。

2004年、原田健司氏とコラボレーションした、クラシックギター作品集『白い軌跡』、『DIECI CENTESIMI』をリリース。作曲家と一緒に音作りをしていくという新たな試みで、クラシックの枠を越えて多くの支持を得る。

2011年、ギター製作家キム・ヒホン氏のプロデュースにより韓国にてDVD『Recollections』をリリース。韓国、中国でのリサイタルの他、ロシアのウラジオストク国際ギターフェスティバル、タイ国際ギターフェスティバルに招かれ、絶賛を博す。

2012年、イタリアのトリノ音楽祭で3回のリサイタルを行い、トリノ市民から高い評価を得た。さらにその時に見たイタリア各地での大聖堂に触発されたことは、今回のアルバムの選曲に大きな影響を与えている。

2009年より師である高田元太郎氏とともに、アルトフィールド・コンサート・シリーズを企画し、自身のコンサートの他、若手ギタリストの出演の場として、また世界的ギタリスト、パヴェル・シュタイドル氏を招いた東京公演など、年数回のコンサートはいずれも成功を収めている。

これまでに、横尾幸弘、江間常夫、高田元太郎、福田進一の各氏に師事した他、R. ディアンス、E. フェルナンデス、S. テナント、M.E. グスマン、A. ピエルリなど国内外で多くのマスタークラスを受講し研鑽している。

日本女子大学人間社会学部現代社会学科卒。昭和音楽大学、アルトフィールド音楽教室にて後進の指導育成にもあたっている。

(2013年8月現在)